



令和元年6月3日 第3号
児童数832名 TEL048-991-2238

学校教育目標

- ・よく遊ぶ子
- ・よく学ぶ子
- ・助け合う子



学校の中心は子供 ～不易と流行～

校長 加納 敏幸

ある物事に深い感銘を受けて強く心を動かされること“感動”。今年の運動会ほど感動を覚えたことはありません。汗をかき顔を真っ赤にしなが、全力で走った徒競走。事前に作戦を考え、一致団結し集団で取り組んだ団体種目。衣装から道具まで各学年ごとに工夫し、みんなでつくりあげ感動を与えてくれた表現種目。勝負や得点は別にしても、実に素晴らしく心が動かされました。教職員として大人として、私はひたむきに頑張る姿、一生懸命に頑張る姿、改めて子供達から多くのことを学びました。

当日は記録的な暑さとなり、子供達に加えご参観の方々の熱中症がいちばん心配されましたが、皆様の熱中症予防への意識が高く、無事終了することができました。保護者、地域の皆様には、準備から本番当日まで多くのお力添えをいただき、本当にありがとうございました。すべての皆様に心より深く感謝申し上げます。加えて、PTA役員様を中心とした献身的なご支援に厚くお礼を申し上げます。

さて、「不易と流行」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。国の中央教育審議会答申によると、不易とは「どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらない価値のあるもの」であり、流行とは「社会の変化に関心をもち、時代の変化とともに、変えていく必要があるもの」と示されています。

運動会における不易とは、学年練習や全体練習に取り組み、子供と一緒に運動会を成功させること。流行とは、運動会の内容や練習時間、種目、競技を見直し、子供や教職員の負担を軽減しながらつくりあげていくことになるでしょうか。

本校では、行事が終わるとすぐにふり返りを行い反省点をもとに、次年度への改善につなげていきます。しかし、改善がなかなか進まないのが学校でもあります。例を挙げると、熱中症の心配がこれまで以上に高くなる異常な暑さの予報がなければ、その対策を行いながらも開閉会式の次第は、例年どおりとし、児童席にテントを設置することもなかったかもしれません。

不易と流行。暑さを見ても、今の子供達が体験してるのは、私達大人の多くが経験した暑さとは違います。厳しい暑さであっても堪え忍ぶのが、これまでの日本の子供達であり、大人もその姿を美德としていたように思います。学校の中心は子供です。時代の変化とともに、天候や季節等の状況を踏まえ、主役である子供を学校の中心に据え、浮き足立つことなく着実に教育を進めていきたいと考えます。そのためには、保護者、地域の皆様のご理解ご協力がこれまで以上に必要になります。改めて「チーム松伏小」の大切な一員として、それぞれの立場で今年の運動会をふり返っていただき、お気づきの点がありましたら学校にご意見をお聞かせください。

季節は6月となり、1学期も残り2か月となります。心を動かすことができる素晴らしい力をもった松伏小の子供達のために、全教職員がスクラムを組み、さらに大きく伸ばせるよう支援に努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き、ご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

6月の生活目標

落ち着いた生活をしましょう

暑く、熱く、頑張りました！

5月25日(土)春季大運動会を開催しました。紅白に分かれて競い合ったり、各学年が、チームワークよく元気あふれる表現活動を演技したりしました。テント設置、当日の見回り、運営、後片付け等、多くの皆様にご声援いただきましたありがとうございました。



4年生 田植え体験



町内の(株)はちぼく八木様に御協力いただきまして、4年生が田植えを体験することができました。

ほとんどの子が初めてのことで、貴重な体験となりました。秋の収穫が楽しみです。

保護者ボランティアの皆様も、ご協力大変ありがとうございました。

いつも手厚いご支援、ありがとうございます



日頃、登下校の見守り活動をしていただいている「ボランティア登校110番」の方々に、1年生は、サツマイモの苗植えを、2年生は、野菜の苗植えの活動に、それぞれご協力いただきました。休日にも、手入れをしてくださっています。深く感謝申し上げます。

子供達も、しっかりと栽培活動に頑張っています。

【お知らせとお願い】

- 大人サポーター(旧名称おやじの会)を募集いたします。なお、男女は問いません。詳しくは、後日、お手紙などでお知らせいたします。
- 毎月一日は、振り返りの日としてメールを配信いたします。この配信では、今後、代表委員会児童が中心となって作るSNSに係る松小のルールなどを、適宜お知らせしていきます。